

「お金の相談なら」
ろうきん

近畿ろうきんホームページ

あなたの悩みを、本気で解決したい。はたらきどりの味方。

店頭での相談もご希望の方はこちらから

オンラインでも相談可能

近畿ろうきん

土地・建物に関するあらゆるご相談をお受けします。
お気軽にお問合せください。

相談

滋賀県住宅生協 077-524-2800
営業時間 9:00~18:00 定休日 火・水・祝日

第69回滋賀県勤労者美術展
出品事前受付はこちらから！

皆さまのご応募お待ちしております！

【出品事前受付期間】 令和6年6月3日(月) 9:00 ~ 令和6年6月20日(木) 17:00

くらしなんでも相談
フリーダイヤル 0120-783-455

～悩みごと・困りごとに応じた相談機関をご案内します～

くらしサポートセンターしが大津 大津市松本2丁目10-6 (1階)
くらしサポートセンターしが彦根 彦根市大東町4-28 彦根勤労福祉会館 (1階)
くらしサポートセンターしが草津 草津市大路1丁目1-1 エルティ932 (4階) 406
くらしサポートセンターしが近江八幡 近江八幡市鷹飼町南4丁目1-4 カルチャーコート (1階)

(一社)滋賀県労働者福祉協議会 くらしサポートセンターしが 大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階

「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

「みんなで大すけあい。豊かで安心できる社会」の実現に向け、皆さまとともに取り組んでいきます。

滋賀推進本部 ● 共済ショップ大津店 ● 共済ショップ彦根店
(滋賀県労働者共済生活協同組合) 【営業時間】 9:30~16:00 【休日】土・日・祝日・年末年始

まなびあい・つながりあい・つたえあい、びわ湖をたいせつにして
誰もが平和で安心して暮らせる社会の実現をめざします。

滋賀県生活協同組合連合会

- ◆生活協同組合コープしが
- ◆生活クラブ生活協同組合
- ◆グリーンコープ
- ◆しがまる生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者共済生活協同組合
- ◆滋賀大学彦根地区生活協同組合
- ◆滋賀大学大津地区生活協同組合
- ◆滋賀県立大学生生活協同組合
- ◆滋賀医科大学生活協同組合
- ◆しが健康医療生活協同組合
- ◆滋賀県職員生活協同組合
- ◆滋賀県勤労者住宅生活協同組合 賛助会員
- ◆生活協同組合コープ自然派京都
- ◆立命館生活協同組合
- ◆龍谷大学生生活協同組合
- ◆ワーカーズコープ センター事業団京滋事業本部

【訂正】
2023年10月1日発行の第747号《改題11号》(4)面内に、誤りがありました。正しくは以下のとおりとなりますので訂正いたします。
【草津東地区労働協役員一覧】
(役職) 副会長 (氏名) 白井 洋一 (所属) 滋賀県教職員組合湖南支部

福祉はひとつ！

労福協 マスコットキャラクター「きょうちゃん」

滋賀県労働協 Instagram

皆さまからのフォローお待ちしております！

令和6年春の全国交通安全運動
実施期間：令和6年4月6日(土)～4月15日(月)

【運動の重点】

1. 子どもが安全に通行できる道路交差環境の確保と安全な横断方法の実践
2. 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
3. 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

令和6年度 滋賀県交通安全スローガン

思いやり 乗せて走ろう 滋賀の道

しがのみち とびだしぼうやが みているよ

へるめっと かぶってまもろう こうつうるーる

2024年3月7日(木)に『終活』をテーマにした生活応援セミナーを開催しました。詳細は、次号「2024年7月1日発行号」に掲載いたします！お楽しみに・・・☆

しが 労福協

No.17

かなくらし

第753号《改題17号》
2024年4月1日発行
発行人 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会
専務理事 山本 俊夫
〒520-0806
大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階
電話 077-524-6290
FAX 077-523-4070
URL https://s-rofuku.com/
E-mail shiga629@aioros.ocn.ne.jp
印刷所 ユメディア株式会社

～災害と向き合い、力を合わせる～
- 能登半島地震への思い

一般社団法人 滋賀県労働者福祉協議会
会長 白木 宏司

会員各位におかれましては平素より滋賀県労働者福祉協議会の活動に対しまして格別のご理解とご協力をいただいておりますことに、感謝を申し上げます。

新年早々、我々の日常に大きな影響を与えた能登半島地震により、日頃から自然の恩恵を受けながら暮らしている私たちは、自然災害の脅威と向き合うことを自覚することとなりました。被災地域の皆様に深いお見舞いと哀悼の意と共に、この難局を共有し、私たちのできることをしっかりと取り組みたいと思います。

また、能登半島地震がもたらした被害と困難な状況の中で、地域の繋がりや人のつながり、そしてコミュニティの大切さが一層浮き彫りになっています。同時に、高齢者や弱者への適切な支援が難しい場面も見受けられます。これらの人々が孤立する可能性があり対処するためには、包括的な支援や地域社会の再構築と強化が必要です。

自助の視点からは、私たち一人ひとりが災害への備えを強化し、安全な行動を心がけることが大切です。自身が安全意識を高め、災害時の避難や対処法について正しく知識を得ることは、自己保護の基本です。

共助・扶助の視点では、地域コミュニティが連帯し、被災地のニーズに応じた支援を行うことが求められます。地域社会全体で連携し、被災者の生活再建に向けて手を差し伸べることで、住民同士の絆を深め、社会全体の安定へとつながります。協力の輪を広げ、資源や情報

を有効に活用して、共助・扶助の力を最大限に発揮しなければなりません。

そのためには、私たち労働者福祉協議会が中心となり、多方面との連携や働きかけを行い、被災者に対して必要な支援を提供することが不可欠です。物的支援やカンパ金の提供、精神的なサポートなど、被災者が安心して生活できるように努めることが求められます。また、地域社会の再構築においては、雇用機会の創出やスキル向上の支援など、労働者の生活基盤を築くための手段も重要です。

労働者福祉協議会は、生活者、労働者の安全と福祉を最優先に考え、被災地の支援に全力を尽くしてまいります。自助、共助、扶助の三位一体のアプローチを通じて、災害に立ち向かい、生活者、労働者が安心して働き、生活できる社会の実現に向けて努めてまいりますので、会員各位のご協力をよろしくお願いいたします。

滋賀県労働協
第68回(第16期)定期総会

2024年5月27日(月)
コラボしが21 3階「大会議室」
14:30開会(14:00より受付)

TOPIC 1 (一社) 滋賀県労働者福祉協議会

2023年度合同研修会を開催しました!

～だれもがつながり合えて、支え合いが生まれる場に～

2023年12月11日(月)、コロナ禍により4年ぶりの集合開催となった2023年度の合同研修会は、福祉強化キャンペーンの一環として実施しました。狙いは大きく2つ。1つは、労働者自主福祉運動の成り立ちや活動への想い、主旨などを理解し、今一度これから我々が取り組むべき自主福祉運動について共に考えること、そしてもう1つは、「福祉はひとつ」の精神によって培ったコーディネーターとしての「つなぐ」役割から「つながる」運動へと、主体性と創造性をもって地域の中で自主福祉運動を展開していくことです。



研修会当日は、滋賀県労福協や地区労福協の役員他、連合傘下の組合役員等合計91名の方に参加いただき、実り多い時間を過ごすことができました。

第1部では、元中央労福協会長・元連合会長の古賀伸明様より「労働運動と労働者自主福祉運動の過去・現在・未来」と題し、基調講演をいただきました。ややもすると忘れてしまいそうな労働者自主福祉運動の理念を今一度思い起こし、我々の運動の原点を再確認することができました。同時に、現在のニーズ、地域社会から求められている我々の運動について、そしてどのように運動を社会化していくのか、何故いま地域に出て行かねばならないのか等、大切にしたい心構えと共に大きな気付きを得ることができました。



古賀伸明講師

そして、第2部の事例報告では、地域に密着し、精力的に活動を展開されている(社福)滋賀県社会福祉協議会副会長の谷口郁美様と、(社福)電機神奈川福祉センター理事の石原康則様より、それぞれご報告をいただきました。

谷口様からは、「共生社会をつくる「ひたすらなるつながり」の実践～“福祉のできごと”から“地域のできごと”に～」と題し、ここ滋賀の地で「ひたすらなるつながり」の理念をもって精力的に活動されている事例についてご報告をいただきました。運動を展開する我々にとって、本日の谷口様のご講演から、地域に出てはじめて求められる支援に気づけることや、地域とつながる必要性を再確認することができました。



谷口講師



石原講師

次に、電機連合神奈川地方協議会様が設立された法人「電機神奈川福祉センター」で、日々幅広いネットワークを構築され、障害者雇用と就労の実現に積極的に取り組んでおられる石原様より、「電機連合神奈川地協の障がい者運動の取り組みと障害者雇用における労働組合の役割」と題し、熱くご講演をいただきました。地域に密着し、信念をもって活動される地道な取り組みのお話からは、私たちがこれから展開しようとする運動のヒントが沢山詰まっていたように感じました。1人の組合員の声がいまや使命となり、コミットされている取り組みに勇気もらった参加者も多かったのではないのでしょうか。



会場からも積極的に質問がなされ、あっという間に終演の時間を迎えた合同研修会となりました。研修会の後は、3名の講師の方にもご参加いただき、温かい雰囲気での懇親会を開催することができ、参加者同士交流を深めることができました。

今回の研修を機に、ますます多くの組織や団体様とも連携を深め、「つながる」を意識した地域活動を展開していきたい所存ですので、皆さまのご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

TOPIC 2 くらサポ役職員研修会を実施しました!

～地域に必要とされる労福協をめざして～

2月1日(木)「くらしサポートセンターしが」の役職員で、豊中市社会福祉協議会を訪問しました。



研修会の講師は勝部麗子さん。勝部さんは豊中市社会福祉協議会のCSW(コミュニティソーシャルワーカー)です。「生活困窮者自立支援事業を通じた地域づくり」をテーマに、さまざまな実践事例について語っていただきました。どれも「住民と一緒に福祉をつくっていく」取り組みでした。6年前に大阪府北部を襲った地震の時に、豊中市在住者の見守り対象1万2千世帯の安否確認を、たった4時間で全て終えることができたのは、まさにその取り組みの成果だと思いました。「常日頃から足を運び、一人暮らしの方・ひきこもりの方などとコミュニケーションをとり、連絡先もしっかりとつかんでおく」、「一人でも多くのボランティアを確保しておく」ことがいかに重要なかがわかりました。この度の「能登半島地震」もそうですが、天災の予測は難しいです。各自の備えも大切ですが、起こった後のボランティア体制を整えておくことも大切です。(※豊中市では50人に1人がボランティア登録)1人ぼっちをつくらぬ自治体の素晴らしい実践について学ぶことができました。滋賀県の19市町でも、地域の組織力のますますの強化が必要だと思いました。

(くらしサポートセンターしがが彦根所長 川端 隆幸)

TOPIC 3 9地区労福協×くらサポ地区センター合同「フードドライブ事業」を実施!

～地域に必要とされる労福協をめざして～

本年度も、子育て支援、生活困窮者支援ならびに商品ロス削減などを目的に「フードドライブ事業」の取り組みを展開しました。収集の期間を、2023年11月1日から11月30日を中心に設定し、滋賀県下9地区労福協とくらしサポートセンターしが各地区センターや事業団体、連合滋賀とも連携し、組合員・事業団体役員など広く食品提供を求めて活動しました。



皆さまから心のこもった食材の提供は、総数3,980個となり、届け先は県下10箇所の市町社会福祉協議会や市役所、フードバンク等、各地域で食材を必要とされる方々に届けることができました。

ある地区労福協では、ボウリング大会開催時に食材を持参していただく工夫をされたとの報告もありました。また、他の地区労福協や各単組の皆さまも様々な工夫や苦勞をいただきました。皆さまの助け合いの行動に感謝申し上げます。



多様な団体と連携したフードドライブの取り組みが、地域との強固なつながりや、地域における生活困窮者支援、子ども食堂支援のより一層の助け合いとなれば嬉しく思います。

また、この活動は無理をせずに継続できることが大事ですので、今後ともみなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

TOPIC 4 令和6年能登半島地震災害に対する緊急支援に取り組みました!

～皆さまからの温かいご支援、ありがとうございました。～

2024年1月1日に石川県能登地方で、M7.6最大震度7の地震(令和6年能登半島地震)が発生しました。人的被害や住宅被害等甚大な被災状況となったことから、滋賀県労福協では、2024年1月21日から緊急募金の取り組みを実施しました。2024年3月10日を第1次取り組み機関の集約日と設定し、250,000円のご協力をいただきました。お預かりしました募金全額は、3月21日に日本赤十字社へ寄付をさせていただきました。



住宅生協さま

ご協力をいただきました事業団体様、あしたば会会員の皆さま、組合員の皆さまに御礼申し上げます。これからも労福協では、生活者・労働者が安心して働き、生活できる社会の実現に向けて努めてまいりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。



大津地区労福協さま

TOPIC 5 第95回滋賀県労働者統一メーデーを開催します!

～「誰一人取り残されることのない」社会の実現に向け実施します!～

第95回滋賀県労働者統一メーデーは滋賀県労福協と連合滋賀の共催で4月27日(土)、『連帯の力で 平和と人権を守り 誰もが安心して暮らせる新たなステージへ!被災地の復旧・復興に向けて みんなで支え合い・助け合おう』をスローガンに掲げ、県下4か所(実施一覧参照)にて開催されます。

…「May Day」は、古くからヨーロッパでは「夏の訪れを祝う日」とされ祝日とされてきました。一方で、低賃金と長時間労働に苦しめられていた米国の労働者がゼネラルストライキ(全国的な規模で行われる労働争議)を行ったのが1886年の5月1日で、彼らは翌年以降も5月1日にゼネストを実施。この動きが世界の労働組合に広まり、1890年5月1日に第1回国際メーデーが多くの国で開催されました。これが今に続く「労働者の祭典」としてのメーデーの起源となったのです。…

滋賀県においても、働く仲間の結集するメーデーの持つ発信力を活かし、「働くことを軸とする安心社会-まもる・つなぐ・創り出す-」の継承・深化に向け、社会的うねりを呼び起こす運動を展開するとともに、コロナ禍からの回復、そして、被災地の復旧・復興支援への継続・強化など、「誰一人取り残されることのない」社会の実現に向け実施いたします。

ひこね市文化プラザでの中央集会をはじめ、各地区にて式典の後にもさまざまなイベントを予定しておりますので、春の一日、ぜひともお近くの会場へご家族と一緒に出かけください。

第95回滋賀県労働者統一メーデー 実施日:2024年4月27日(土)

地区労福協 / 連合地協	開催時間	開催場所
大津地区労福協・高島労福協 / 第1区地協	9:30-12:00	膳所城跡公園
【中央集会】彦根地区労福協・湖北地域労福協 / 第2区地協	9:45-12:30 (受付9:15より)	ひこね市文化プラザ
草津東地区労福協・守山野洲地区労福協 / 第3区地協	11:00-14:00	栗東芸術文化会館さくら
湖南甲賀地区労福協・近江八幡地方労福協・東近江労福協 / 第4区地協	10:00-13:00	あいこうか市民ホール

(実施内容は変更となる可能性があります)

TOPIC 1 近畿労働金庫滋賀地区本部

第3回滋賀地区運営推進会議を開催～「生活応援運動の拡大と金融DXへの挑戦」を確認～

2月20日(火)、「コラボしが21」において、23名の出席のもと第3回滋賀地区運営推進会議を開催いたしました。



会議では、「総会第2号議案の会員討議資料について」の説明と、「2023年度12月末営業報告と2024年度の営業活動について」の報告を行いました。

2024年度からスタートする第9次中期経営計画(～2026年度)では、「会員との深いつながり」を何よりも大切に、「誰もがアクセスできる金融」をめざして挑戦することを基本方針としています。基本方針に基づいた2024年度事業計画として、会員・はたらく人びと・地域社会から必要とされる存在であり続けるため『生活応援運動の拡大』と『金融DXへの挑戦』を取組みの大きな柱とし、会員・推進機構

との絆を更に強め「助け合いの金融」を着実に実践すること、そして、組合員への生活応援を継続して展開することを確認いただきました。

また、前述の『生活応援運動の拡大』の重点的な取組みの1つに「共生社会への寄与」を掲げています。中でも、「子ども支援」の社会貢献活動を行うNPO法人等への支援に向けて取り組むため、会員推進機構と営業店との連携による新たな支援の仕組み作りについて意見交換を行いました。

TOPIC 2 こくみん共済coop<全労済> 滋賀推進本部

2023年度「書記・担当者研修会」を開催しました

こくみん共済coop 滋賀推進本部は、過去幾多の災害を経験し、被災した組合員への生活再建をお手伝いしてきました。その経験から、自然災害の恐ろしさを知り、日頃から備え、とっさの時の回避行動が大きく明暗を分けることを学びました。

近い将来、高確率で発生すると言われている『南海トラフ地震』。“組合員の命と暮らしを守る生協”として2023年12月6日(水)にホテルポストンプラザ草津にて開催した書記・担当者研修会の模様を報告いたします。

滋賀県内の59団体、延べ63名の方に参加いただき、『見て、触れて、感じる』をテーマにVRゴーグルを使用した【地震・土砂災害・火災】を疑似体験、新聞紙でスリッパ作り、ロープ術”もやい結び”等を職員自らが講師をつとめ体験。また避難所HUG(ハグ)ゲームでは、年齢・性別・国籍などそれぞれが抱える事情を持った避難者、そして様々な課題(出来事)にどう対応していくかを体験いただく中で、避難所運営の難しさを実感いただきました。

こくみん共済coop 滋賀推進本部ではこれからも、万一から命と暮らしを守る『防災・減災活動』を展開していきますので、引き続きのご理解・ご協力をお願いいたします。

TOPIC 3 滋賀県勤労者住宅生活協同組合

～滋賀県児童福祉入所施設協議会への支援について～

滋賀県住宅生協では、日頃よりご支援、ご協力をいただいております業者の皆様、労働組合の皆様が参加のもと、11月13日(月)に「レインボーフェスティバルチャリティーコンペ」を開催し、お寄せいただいたチャリティー金と住宅生協からの寄付金をあわせて、滋賀県児童福祉入所施設協議会に寄付を行いました。

滋賀県児童福祉入所施設協議会は、さまざまな事情により家族と一緒に生活できない子ども達の暮らす児童養護施設や児童自立支援施設など県内14の施設で構成された、児童福祉の増進と健全育成の促進を目指す協議会です。児童養護施設では、昨今における児童虐待などによる社会的養護を必要とする児童は増加しており、社会的養護児童の社会自立については、様々な課題が山積しているようです。これからの社会を創っていく子どもたちが健全に成長し、力強く生活を営んでいかれることを祈念し今後も応援活動を続けて参りたいと考えています。

ぜひ皆さまも、子どもたちの輝く未来を願って、引き続きご支援をお願いいたします。

～「フードバンクへの食品・食材提供」～

食糧支援を必要とする家庭や福祉施設への支援と食品ロス削減の観点から、役職員とその関係団体へ食品・食材提供の協力を呼びかけ、集まりました品々を11月2日(木)にフードバンクしが、11月4日(土)にはフードバンクびわ湖へ、それぞれ提供を行うことが出来ました。また、就労継続支援事業所の協力により作業所で作られましたお菓子を寄付する取り組みも行うことが出来ました。



フードバンクびわこ 曾田様

フードバンク滋賀 名倉様

TOPIC 4 滋賀県生活協同組合連合会

～県連第43期役員研修の実施～

役員研修として、1月30日～31日にかけて6会員生協の役員11名が参加し、広島生活協同組合連合会を訪問して、交流と視察を行いました。役員研修としては、久しぶりの開催で会員生協の役員が自ら平和を学び、会員生協及び滋賀県の平和の取り組みに活かすこととともに会員生協間のコミュニケーションの推進と県連活動への理解を目的に開催をしました。

具体的な学びでは、被爆体験のある広島として、世界平和の実現を祈念する「ヒロシマの心」を実践する取り組みの紹介や被爆者の証言を聞き、改めて私たちのできることや私たちが次



広島 平和公園にて

世代につないでいくことの大切さを痛感しました。翌日には、碑めぐりガイドによる平和公園めぐりとリニューアルされた原爆資料館を見学しました。唯一の被爆国に暮らす日本人の一人として今できることは、平和やいのちの大切さを自分の周りの人に伝えること。当たり前のように思える現在も過去の苦しい歴史の上に成り立っており、核使用というその歴史をまた引き起こそうとする現実があること。戦争も核兵器もない安心して暮らせる「平和な社会」の実現は誰かがやってくれるのではなく、一人一人が主体的に関わっていくことが大切であり、無知と無関心が平和の最大の障壁であるも再認識しました。



被爆者の証言

多くの気づきと学び、全国の生協の仲間の実感を感ずる貴重な2日間でした。

TOPIC 6 滋賀県勤労者美術展 第69回滋賀県勤労者美術展を開催します!

～広がりのある美術展へ・・・多くのご出展お待ちしております!～

滋賀県労福協が主催する『滋賀県勤労者美術展』は、湖国勤労者の文化の向上を図るとともに、労働者福祉の発展および、県下各地の文化活動団体との連携を深めることを目的に開催しています。第69回目を迎える本年度は、昨年度同様の応募資格とし、広く応募を募るため、現在、県内全域の公民館さんや様々な団体様へ、開催周知のご協力をお願いや出品のご案内を行っております。また、本年度は、絵画の部に「デジタル絵画」を含め、幅広い年代の方が出展しやすい内容とさせていただきます。

展覧会場は、『滋賀県立美術館』。作品規格に合った全作品の展示を予定しております。新緑の美しい季節、是非皆さまお誘い合わせのうえ、県民の皆さまが趣向を凝らし作製された作品を観覧いただくと嬉しいです。開催の日程は、以下をご参照ください。詳しくは、滋賀県労福協ホームページにて案内いたします。

★『第69回滋賀県勤労者美術展』開催日程★

- ◆会 期：2024年7月23日(火)～7月27日(土) 9時30分～17時00分
2024年7月28日(日) 9時30分～15時30分
- ◆会 場：滋賀県立美術館ギャラリー(全区画)(滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1)
- ◆応募資格：滋賀県内に在住の方、または、県内に通勤・通学している方(していた方も可)、およびそのご家族
※ただし、高校生以下は不可
- ◆応募部門：書道/写真/絵画/工芸手芸、応募は一人1点(複数部門への出品は不可)
- ◆書類受付：[日時] 2024年6月3日(月)9時00分～6月20日(火)17時00分 ※所定の応募フォームより
- ◆作品受付：[日時] 2024年7月4日(木)・7月5日(金)10時00分～17時00分 および
2024年7月6日(土)10時00分～12時00分
[会場] (一社)滋賀県勤労者福祉協議会(滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階)
- ◆審査会：2024年7月6日(土)～2024年7月8日(月) ※全部門非公開にて実施
- ◆審査員：【書道の部】 (公社)滋賀県書道協会理事長 神田 浩山 先生
【写真の部】 滋賀県写真連盟会長 澤野 二郎 先生
【絵画の部】 日展会員 北村 恵美子 先生
【工芸手芸の部】 滋賀県工芸美術協会顧問 三原 サダ子 先生
元滋賀県立近代美術館総括学芸員 桑山 俊道 先生
- ◆表彰式：[日時] 2024年7月28日(日)13時30分～14時10分 (13時10分より受付開始)
[会場] 滋賀県立美術館「木のホール」(滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1)
7月16日(火)15時00分に、(一社)滋賀県勤労者福祉協議会ホームページ上に入賞者を発表します
- ◆講評会：[日時] 2024年7月28日(日) 各部門約1時間、完全入替制、開始10分前より受付
【写真の部・絵画の部】12時00分～13時00分 【書道の部・工芸手芸の部】14時30分～15時30分
[会場] 滋賀県立美術館ギャラリー(滋賀県大津市瀬田南大萱町1740-1)
- ◆作品返却：[日時] 2024年7月29日(月)～7月31日(水)10時00分～17時00分
[会場] (一社)滋賀県勤労者福祉協議会(滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階)
※ただし、書道の業者配送のみ7月28日(日)に滋賀県立美術館にて返却予定